

ファイナンシャル越境バブル

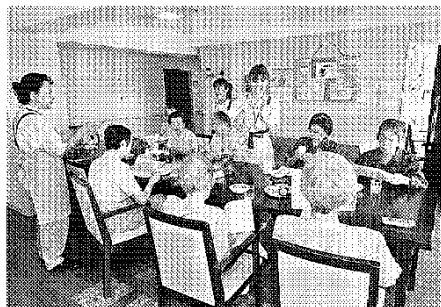
■ファンドで覇競う

千葉市花見川区、JＲ 総武線幕張駅から歩いて十五分の住宅街にマンシ

ン風の有料老人ホームがある。この「シニア町内会まぐはり館」は一昨年まで、経営再建中の中堅セネコン、東海興業の

野村証券グループの投資会社、野村プリンスが昨年つくった不動産ファンド銀行からノンリコースロ

介護から美容まで



老人ホームのホールでくつろぐ入居者（千葉市）

有望市場に独自ノウハウ

て生きている。

米国を手本に

介護事業には通信教育最大手のベネッセコーポレーションが参入し、不振の語学事業を補うまでに成長した。オリックスや居酒屋チェーンのワタミ、セコムも参入。異業種のバトルに、ファンドも参戦する構図だ。

「いずれはファンドにできる」と話す。りそなグループは昨夏から窓口で、米国のREITを複数組み合わせた投資信託の販売を始め

「刑務所」「森林」「携

に積み上げる計画で、秋元が運用を任せられた。野村時代に手掛けた幕張の老人ホームもファンドに含まれている。

高齡化社会を迎え、ファンドの介護市場への参入熱はにわかの高まってきた。三井不動産は四月、有料老人ホームに投資す

「多」と味導つ企業再生ノウハウを競うバトルが始まった。敬称略